

第1回 甲田地区小学校統合準備委員会【総務部会】要点筆記

開催日時：平成26年12月15日（月）

午後7時00分～9時30分

開催場所：甲田支所（2階会議室）

参加状況	<p>■専門部会員（敬称略）</p> <p>豊原 稔和 甲立小学校区内の振興会代表 明木 一悦 小田小学校区内の振興会代表 今村 佳岳 小田東小学校区内の振興会代表 ◎原田 和雄 甲立小学校保護者会の代表（部会長） 田邊 介三 甲立小学校保護者会の代表 足助 智恵 小田小学校保護者会の代表 新田 敦宏 小田小学校保護者会の代表 北森 一平 小田東小学校保護者会の代表 千葉 久美 小田東小学校保護者会の代表 光實 大輔 甲立保育所保護者会の代表 原田 久美子 小原保育所保護者会の代表 ○富永 美香 小田東保育所保護者会の代表（副部会長） 山平 弥生 甲立小学校の校長 川本 和暁 小田小学校の校長 信末 実智則 小田東小学校の校長 宮本 直彦 甲田中学校の校長</p> <p>■安芸高田市</p> <p>叶丸 一雅 安芸高田市教育委員会教育次長 土井 実貴男 安芸高田市教育委員会教育総務課長 柳川 知昭 安芸高田市教育委員会教育総務課学校施設係長 倉田 英治 安芸高田市教育委員会教育総務課学校施設係専門員</p>
傍聴者	1人
会議次第及び資料	別添のとおり
会議内容	<p>□概要</p> <p>第1回目の総務部会を開催。部会長、副部会長を互選し、「統合目標年月日」について提案し、質疑応答と意見交換を行った。</p> <p>□進捗状況報告について</p> <p>甲田地区は、これまで6回の統合準備委員会を開催し、保護者にとって関心の高い協議項目から随時提案をして、協議を重ねてきていただいた。推進計画上、統合校は甲立小学校と示してあるが、本地区では統合校の位置が焦点の一つであり、将来を見通した際の、小中一貫校の必要性、新設校設置の議論も続いていたが、前回の準備委員会で、“条件が合えば統合する”という各委員の意見が大半を占めたので、今後は、統合の条件整備をしていくため、専門部会を設置して協議項目に対する調査、研究を行うこととなった。</p>

意見・要望等

- ・これまでの経過を推進本部へどのように報告して、市長からはどういった指示があったのか。
- ・小中一貫校や新設校等の議論を具体的にしていないが、保護者や地域の思いなどは市長に報告されたのか。
- ・総務部会で確認され、準備委員会で最終確認され、推進本部に上がるという流れで、協議結果に記載した要望が通らなかった場合は、また違う議論を総務部会ですることは可能なのか。
- ・協議結果について署名印を設けて、内容の確認をした上で、次に進めたらどうか。

部会長

- ・総務部会では、今までの議論で積み残してきた協議項目は、関連項目という形で個人の意見を出してほしい。それを一つの要望として、意見集約して確認作業をしていく。

事務局から

- ・市の見解は推進本部で確認をしている。焦らず協議を重ねて結論を得ていく。
- ・甲田地区は、準備委員会としての確認作業まで至っていないので、総務部会で協議して準備委員会へ報告して頂きたい。準備委員会で確認したものを、総務部会に下ろすことはできない。

協議事項 ①統合目標年月日について

事務局からの提案内容

- ・統合目標年月日は、平成 28 年 4 月 1 日とする。

意見・要望等

- ・地域をどのように活性化していくかという視点で、過疎化の地域からの意見で学校は大切。なぜ今、統合するのか。複式になれば、手厚い教育を教育委員会がすれば子どもたちは伸びる、交流授業を進めればいとすれば、統合すべきか悩む。複式学級になったとき子どもたちへの悪影響の有無、何が不利益なのか具体的な事例、全国的な学力のレベルの違い（統計数値）を教えてください。複式学級が不利だと考えるなら、隣の学校に行かせることができると思うが、それはできないのか。
- ・なぜ、統合しないといけないのかをどこまで理解しているか。何が課題でこの議論をしているのか。財政問題で協議しているのであれば、しっかりと資料をもう一度見せてほしい。統合して子どもたちに影響がでるのなら、統合せず地域のために学校を残すという選択肢の協議ができるのではないか。
- ・学校の位置も決まってない状況で、平成 27 年 1 月末までに合意形成を得ることは不可能。平成 29 年 4 月もしくは平成 30 年 4 月が妥当と思う。
- ・目標であれば、2～3 年あると考えるより、1 年と区切って平成 29 年 4 月としたい。先延ばしにすると、後々の委員が余計しんどい思いををすると思う。
- ・保護者会に持ち帰って確認することや合意形成することを考えたら、最低でも 2 年はかかる（平成 30 年 4 月）と思った。保護者の間でも統合の話が進んでいるので、子どもたちのためにも覚悟を持って時期をきちんと決めた方がいい。
- ・保護者の意見から、目標は平成 28 年 4 月となっているが、延すとしても 3 年以内なら良い。
- ・期間が延びると 4 年生～6 年生の保護者は、統合への関心が薄くなるため合意形成を得るのが難しくなると思うので、平成 29 年 4 月目標が良い。
- ・目標を平成 29 年 4 月と設定して、平成 27 年 1 月までに合意形成が得ることができなかった場合、目標年月日が平成 30 年 4 月になると、教育委員会の立場、事務的に問題があるのか。

- ・合意形成をしてからは、目標年月日の変更はできないということなので、私たちも慎重に目標年月日を考えないといけない。
- ・委員の任期もあるので、そこも勘案して議論すべき。統合目標年月日については部会で再度協議の上、報告する。期間が延びることで保護者に負担を残さない方がいい。

部会長

- ・圧倒的多数により、統合目標年月日は平成 28 年 4 月にできないことを次回の準備委員会で報告する。統合目標年月日については、部会で継続協議とする。

事務局から

- ・複式学級に関連する資料が提供できるか検討したい。教育行政に携わっている教職員の中で、複式学級を対応した先生方に事例を聞き取って報告するのは可能だと思われる。

事務連絡

- ・今回は、準備委員会を開催し総務部会の報告をする。終了後、引き続いて総務部会を開催し、「統合目標年月日」について再度協議する。
- ・次回の開催日は、平成 27 年 1 月 13 日（火）とする。

第 1 回甲田地区小学校統合準備委員会【総務部会】次第

日時 平成 26 年 12 月 15 日（月） 19 時 00 分～
場所 甲田支所 二階会議室

1. 開 会

2. 任命書交付

3. 挨拶

4. 委員紹介・事務局紹介

5. 部会長、副部会長の互選について

役職	氏名
部会長	
副部会長	

6. 進捗状況報告 別紙 1

7. 協議事項

- (1) 統合協議項目について
- (2) その他

8. 事務連絡

- ・ 次回開催予定 平成 年 月 日（ ）

9. 閉 会

配布資料

- ・ 甲田地区小学校統合準備委員会【総務部会】名簿 資料 1
- (※以下、準備委員と重複していない部会員のみ配布)
- ・ 安芸高田市学校規模適正化推進事業の経過報告 資料 2
- ・ 甲田地区小学校統合準備委員会の概要 資料 3
- ・ 安芸高田市学校規模適正化推進計画 資料 5
- ・ 要綱集 資料 6
- ・ 小学校の児童数の推移 資料 7

協議項目 第 1 号

統合目標年月日について

平成26年12月15日 提出

協議項目	統合目標年月日について
提案内容	統合目標年月日は、平成28年4月1日とする。
協議結果	
確認日	平成 年 月 日 第 回 専門部会で確認